

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【公表番号】特表2002-518983(P2002-518983A)

【公表日】平成14年6月25日(2002.6.25)

【出願番号】特願平9-523811

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/675

A 6 1 K 31/7076

A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 43/00

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/675

A 6 1 K 31/7076

A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 43/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月5日(2003.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成15年12月5日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第523811号

2. 発明の名称

迷走神経トーンの調整方法

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 アメリカ合衆国 ペンシルバニア州 19041-1020
ハバフォード ダートマス レーン 24

名 称 ダスカ サイエントフィック カンパニー

4. 代理人

〒105-0004

住 所 東京都港区新橋5丁目16番5号
スプリュー新橋ビル (電話3459-8309)

氏 名 (7563) 弁理士 倉 橋 暎



5. 補正の対象

(1) 明細書の請求の範囲の欄

6. 補正の内容

(一) 「請求の範囲」を別紙の通りに補正する。

「別紙の通り」



(別紙)

請求の範囲

1. 望ましくなく高い迷走神経トーンに関連した症状に罹患している哺乳動物における迷走神経トーンを低下させるための薬剤の製剤における、迷走神経求心性神経終端に位置するP_{2x}-プリノセプターの拮抗剤若しくはアロステリック変調剤の使用。
2. 前記症状は、喘息、肺塞栓又は徐脈性不整脈である請求項1の使用。
3. 異常な迷走神経トーンの診断のための薬剤の製造における、迷走神経求心性神経終端に位置するP_{2x}-プリノセプターのメジエーターの使用であって、前記薬剤は、前記メジエーターにより誘発される患者の迷走神経反射を測定して、標準と比較することができ、これにより標準的反射と異なる反射が異常な迷走神経機能を示すように患者に投与するためのものであることを特徴とする前記使用。
4. 前記異常な迷走神経トーンは、血管迷走神経性失神に関連することを特徴とする請求項3のメジエーターの使用。